

過労死防止学会 第9回大会 プログラム

・2023年9月9日～10日

・明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー

第1日[9月9日(土)] 午前の部

分科会

第1分科会 [自由論題]

司会:伊藤大一

土谷良樹 東京勤労者医療会 東葛病院 内科部長 〈会場報告〉

過労死発生の構造的分析序論

川人 博 川人博法律事務所・過労死弁護団 〈会場報告〉

過労死発生の構造的分析序論

関連報告 小野山静 弁護士・旬報法律事務所 〈会場報告〉

労働者協同組合事件、労災遺族年金男女差別

第2分科会 [自由論題]

司会:秋山正臣

寺内宏伸 労働法論文翻訳者、元労働基準監督官 〈会場報告〉

過労死防止と2024年問題、パワハラ対策について

櫻井善行 愛知働くものの健康センター、定時制高校非常勤講師 〈会場報告〉

過労死防止啓発授業の可能性と課題 一定時制高校での4年間の関わりから見えてきたもの

第3分科会 コロナ後の客室乗務員の実態と働き方における課題 司会:松浦洋一郎

奥平 隆 NPO法 航空の安全・いのちと人権を守る会 副理事長 〈会場報告〉

係争中の客室乗務員の労災認定をめぐる論点について

渡辺佳子 Japan Cabin Crew Union 〈会場報告〉

何故Tさんケースは防げなかったのか? その背景を探る

第1日[9月9日(土)] 午後の部

特別講演 座長:粥川裕平

竹島正 川崎市総合リハビリテーション推進センター所長 〈会場報告〉

自殺予防・自死遺族支援からみた過労死・過労自殺 一次に取り組むことを共に考えるために

高崎真一 国際労働機関(ILO)駐日代表 〈会場報告〉

世界の長時間労働の現状と「ビジネスと人権」の最新動向

労災申請の取り組みに関わる問題点

◇会員総会



第2日[9月10日(日)] 午前の部

分科会

第4分科会 ハラスメントと過労死問題 司会:松浦 章

今野晴貴 NPO法人POSSE代表 〈会場報告〉

過労死遺族の権利行使の過程に関する研究

田中與念子 社会福祉士、基礎経済科学研究所所員 〈会場報告〉

医師の長時間労働と働き方改革

三隅達也 〈会場報告〉

医師の特定機能病院の36協定で定める医師の延長労働時間

—24年度開始の医師の労働時間規制までに2年を切った時点の調査

第5分科会 睡眠科学・医学・労働法学から考え直す日本の労働時間規制 司会:川岸卓哉

高橋賢司 立正大学法学部教授 〈オンライン報告〉

日本の労働時間規制の何が問題なのか(問題提起)

広瀬俊雄 医師、仙台錦町診療所／産業医学センター所長 〈会場報告〉

過労死・過労自殺につながる医学上の健康障害とその背景

佐々木司 大原記念労働科学研究所上席主任研究員 〈会場報告〉

睡眠のメカニズムと睡眠の科学からみた過労死、長時間労働

高橋賢司 立正大学法学部教授 〈オンライン報告〉

労働時間の上限規制と深夜労働規制のあり方

川岸卓哉 弁護士 〈会場報告〉

勤務間インターバルのあり方

第6分科会 文化芸術・芸能従事者の過重労働 司会:工藤祥子

森崎めぐみ 俳優・一般社団法人日本芸能従事者協会代表理事・

全国芸能従事者労災保険センター理事長 〈会場報告〉

芸能従事者の過重労働の現況と課題2023

《関連報告》

高橋幸美 過労死等防止対策推進全国センター・

厚生労働省過労死等防止対策推進協議会委員 〈オンライン報告〉

加藤みはる 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 〈会場報告〉

《コメント》

佐藤大和 弁護士・芸能法務研究者 (代読)



第2日[9月10日(日)] 午後の部

共通論題 座長:黒田兼一

共通論題テーマ 地方公務員の長時間過密労働とその対策

森本正宏 自治労 前総合労働局長 〈会場報告〉

地方公務員の労働実態について

山口真美 三多摩法律事務所・弁護士 〈会場報告〉

地方公務員の長時間労働 ～労基法33条問題と特例業務

上林陽治 立教大学コミュニティ福祉学部特任教授 〈会場報告〉

会計年度任用職員の公務災害補償 ―死んでからも非正規扱いなのか―

吉川 徹 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所

過労死等防止調査研究センター 統括研究員 〈会場報告〉

地方公務員の過労死等に係る公務災害認定事案に関する調査研究報告書の概要

[予定討論]

川村雅則 北海学園大学教授 〈会場報告〉

岩井羊一 弁護士 〈会場報告〉

